

会報

第156号
財団法人石造総務
研究会

迎春



会報が届く頃は、まだ年末の忙しさの中にいらつしやることと存じます。いろいろなことが世間を騒がせた令和七年でした。毎年、当会の活動にご協力いただき、心より感謝申し上げます。来る令和八年も、またよろしくお願い申し上げます。皆さまのご健勝をお祈りいたします。

会報一五六号 目次

- ❖ 十月〜十二月の行事実施報告 (一頁)
- ❖ 一月新年懇談会のご案内 (二頁)
- ❖ 二月勉強会のご案内 (二頁)
- ❖ 三月石仏見学会のご案内 (二頁)
- ❖ 十月 バス研修旅行記
土井照美氏 (二頁)
- ❖ 十一月 四街道、山梨・鹿渡周辺の石仏をめぐると見学会に参加して
辻本臣哉氏 (五頁)
- ❖ 新入会員のご紹介 (六頁)

十月四日(土) バス研修旅行を実施しました

❖日時 十月四日(土) 終日
❖参加者数 二十名

心配された雨もさほど降らず、計画どおり実施することができました。当日の様子は、会員の土井照美氏に旅行記を書いていただきました。頁からです。ぜひご覧ください。

十一月 石仏見学会を実施しました

❖日時 十一月十四日(金)
❖テーマ「四街道 山梨・鹿渡周辺の石仏をめぐると」
❖参加者数 九名

秋晴れのなか、たわわに実った柿や秋の草花を眺めながら、計画どおりに実施することができました。

当日の様子は、会員の辻本臣哉氏に見学記を書いていただきました。頁に掲載いたしましたのでぜひご覧ください。

十二月 石仏ゼミナールを実施しました

今年度のテーマ
「災害と石仏―記憶と再生へ―」

❖日時 十二月七日(日)
❖会場 千葉市文化センター会議室
❖プログラム

第一講 高橋直樹氏(当会会員)
「石碑に記された関東大震災」
第二講 (当会会員)
「災害に関わる石仏」
❖参加者数 三十名
(会員十五名、一般十五名)

第一講では、石碑の写真を見ながら、拓本採拓の際の苦労話や石材のお話をうかがい、知的好奇心を大いに刺激される講座となりました。

第二講では、会員の宮内欽一氏に「浅間山噴火碑」の資料をご提供いただいたり、事務局からさまざまな災害関係石仏の紹介をしたりしました。

会場からも多くの質問や石仏情報が出されて、和やかなうちにも今回のテーマに迫ることができたゼミナールとなりました。

「会報」第 156 号
発行：2026 年 1 月 1 日

房総石造文化財研究会 事務局

会のホームページ URL：
<https://sites.google.com/view/bosekiken/>

原稿募集のお願い

会誌『房総の石仏』三十号へのご投稿をお願いいたします。論考、石仏随想、事例報告など多様なジャンル歓迎です。千葉県内だけでなく、他県他地域の石仏・石造物でもかまいません。事務局までお問い合わせください。皆さまどうぞご協力のほどよろしくお願いいたします。